



しあわせが つながる ひろがる
よいとこ高時

己高の風

高時地区
地域づくり協議会広報紙

令和5年 12月号

No. 30

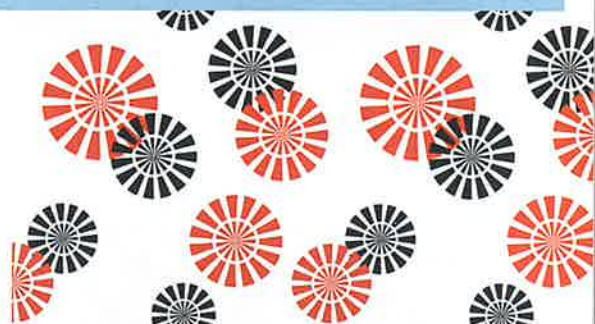
たかとき夏まつり 開催しました！



7月22日(土)に、たかとき夏まつりを開催しました。当日の朝には恒例となった森の草刈り整備を行ない、地域から多くの参加者に協力していただきました。伸びた雑草に一面覆われていましたが、みなさんの力であつという間に刈り取られ、すっきりとした景観が戻りました。

午後からはいよいよお楽しみの夏まつり。事前準備として屋台の看板POP作りを手伝ってくれた小中学生たちも、当日引き続きボランティアとして参加してくれて大助かり！今年はゴム鉄砲の射的コーナーや己高庵さんが焼きそばの屋台を出店して下さり、昨年よりも縁日の雰囲気を出して盛り上げてみましたが、みなさん楽しんで頂けましたでしょうか？

コロナ禍でも楽しめるものを、と始まった夏まつりも段々と定着し、高時に帰省する方や地域外の方も足を運んでもらえるまでになりました。この行事がずっと地域の方の心に残る「夏の思い出の一つ」となるよう、来年度もより良いものにしていきたいと思ひます！



夏まつり BackStory

今年の夏まつりも地域の子どもたちに協力してもらい、事前に会場の看板作りや当日出店する模擬店のお手伝いをお願いしました。

小中学生たちはグループに別れ、どんな看板にしようかな？どう描けば見てもらえるかな？と相談しながら作り上げてくれました。

いよいよ開催当日には、多くの中高生がお店の接客対応もしてくれて大変頼りになると同時に、小さい子ども達と一緒に遊ぶ光景も見られ、改めて何かを一緒に作り上げる楽しさと繋がり大切さを感じました。参加してくれた中高生の皆さん、本当にありがとうございました！



※たかとき夏まつりは、
京都新聞福祉事業団の
「京都新聞子育て応援事業」
の助成を受けています。

各自治会による模擬店がオープン

手作りのおかしや食べもの、なつかしい味に賑わいました

10月8日(日)に開催された高時地区グラウンドゴルフ大会・文化祭にあわせて、高時地区の各自治会による模擬店が出店され、たくさんの人たちでにぎわいました。新型コロナウイルスの感染拡大以降中止となり4年ぶりの開催となりましたが、どのお店も手際よく開店準備をして、買い物に訪れる方を出迎えていました。大盛況のためお昼頃にはほぼ完売状態に。買いたくても売り切れて買えなかった…という人もいたようです。売る人も買う人もみんなが笑顔でやりとりしていたのが印象的でした。

小山

パンケーキ
フランクフルト

石道

みたらしだんご
たこ焼き
トロピカルジュース



大見 鮎の塩焼き

古橋 肉まん 綿菓子 ポップコーン



川合

炊き込みご飯



イベント会場では、小さな子どもたちからお年寄りまでいろいろな世代の方々とたくさんお見かけしました。また、「普段は地域外で生活しているけど実家が高時なので遊びに来ました♪」という家族や、このイベントに「同級生と一緒にきました」という若い子育て世代のグループにもお会いしました。普段は高時地区に住んでいない若い世代がイベントに足を運んでくれていることはとてもうれしく、こういう場所や時間は大切にしたいと感じました。

みんなが集まるきっかけになるようなイベント、行ってみたい、参加したいと思えるイベントを今後も地域のみなさんと一緒につくっていききたいと思います。

地域の資源として利活用を！ 大見の炭焼き

昔から生業（なりわい）として地域で受け継がれてきた炭焼き。大見では今も、地域住民や他所からお手伝いできる人を呼び掛けながら炭焼きを続けていると聞き、大見いこいの広場の敷地内にある炭焼き窯を見に訪れました。

程よい大きさに切断された原木を炭焼き窯に1本1本詰め込み、レンガと使い蓋を閉めるまでの工程を1日かけて作業。腰を曲げないと入れないような手狭な炭焼き窯に、膨大な量の本を立て詰めていく作業は体力勝負！火入れのために蓋をする入口部分には、いびつなレンガに接着剤がわりになる土を使い、手際よく積み上げていきます。



大見の藤田勝さん（前列中央）ほか、地域おこし協力隊の船崎桜さん（同右）らが呼び掛け、集まった有志と一緒に作業しました。



この数日後には、窯に火を入れ数時間おきに薪を足す、という長丁場の作業が待っていました。用意した総重量4tにもなる原木は、最終的に1/10となり、約100袋ほどにしかならないそうです。完成した大見の炭は、大見いこいの広場で販売され、宿泊利用者や一般の方誰でも購入できます。高時地域づくり協議会でもイベントの際に利用し、火のつきと持ちがよく品質の良さは体感済み◎ ご興味のある方はぜひ使ってみてください。



窯の前で土を混ぜ繋ぎ目の資材を作る



火入までの準備も抜きなく



えんがわの家

古民家リフォーム中！！
みんなの「集う場所」に



石道の古民家をつながり部会メンバーが中心に改修しています。
「えんがわの家（うち）」と名づけ、今後いろんなかたちで
地域のひとが集まり交流し、暮らしをより豊かにできる場所にします。

いろんな使い方が
できる空間



時代の流れで、段々と希薄になっていく人との繋がりとは、もう都会だけの問題ではなくなってきています。そんな現状を回避したい思いと、心も身体も豊かな毎日が過ごせるような場所を作りたい思いが合わさって、今取り組んでいるのが「えんがわの家」。

改修作業は思いのほか大変そうですが、完成した暁には上図のようにたくさんの方が可能性が秘められています！毎週土曜日には、改修作業の様子も見てもらえるので、気になる方はぜひ遊びに来てください。



「地域活力プランナー（集落支援員）」を募集します！

地域活力プランナーは、地域づくり活動の中心となりつつ、各種団体との調整や
地域課題の洗い出し、地域住民との解決に向けた支援など
地域密着型の取組を高め、運営上の助言などを行います。

資格は不要です。地域づくり協議会の組織の一員として、楽しくお仕事してみませんか？



高時地域づくり協議会
Instagram



高時地域づくり協議会
Facebook



高時地域づくり協議会
ホームページ



スマホのカメラで読み取ると、それぞれのサイトにアクセスします。是非、フォローお待ちしております！